



## 申6号 「新潟支社の現業機関における柔軟な働き方の実現について」に対する申し入れ団体交渉報告その③

### 4. 庄内統括センターを設置する目的を明らかにすること

回答：庄内エリアにおいて、系統や事業分野を超えた柔軟な働き方を実現するために、新たな現業機関として設置するものである。

（会 社）業務の連携では現状でも職場間交流という形で色々出来るが、1つの職場になることにより勤務操配など管理者の中で統一して行うことが出来るし、酒田地区の規模感が近接しているので庄内としての一体化が図られることから庄内統括センターとして決定した。

### 5. 酒田駅・鶴岡駅・酒田運輸区を選定した理由を明らかにすること

回答：庄内エリアにおいて、系統や事業分野を越えた柔軟な働き方を実現するために、新たな現業機関として設置するものである。

（会 社）酒田地区において直営の営業・運輸職場がこの3つに限られている。

### 6. 庄内統括センターの設置が新潟支社の収益に与える影響を明らかにすること

回答：社会の急速な変化を踏まえ、グループ経営ビジョン「変革2027」の目指す「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」に向け、系統を超えて新たな価値の創造を一層推進していく観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させていくものである。

（会 社）目的は会社収支の改善が目的では無く、社員の多様な働き方を実現することにより社員のレベルアップ・スキルアップを図って行くのとモチベーションを向上させて行くことなどによる人材育成の観点を大きくウェイトを占めるものなので収益と言う部分は想定していない。

（組 合）赤字下においてこれだけの施策を行うのであれば、収益の確保というのは大事な部分であると捉えているのでそこは労使の共通の課題として取り組んでいきたい。

### 7. 新潟支社が目指す「ヒト起点での新たな価値の創造」とは何かを明らかにすること

回答：輸送サービス、生活サービス及びIT・Suica サービスを融合することにより、「ヒト起点」での新たな価値を創造していく考えである。

（会 社）社員、お客様だけではなく家族であるとか当社に関わる全ての方々というところで、酒田・鶴岡地区に住まわれている全ての方々に何らかの形でJR東日本のサービスに触れて頂くという関心を持って頂くということが一つの考え方になる。庄内統括センターの中で輸送サービスは何か出来るのかというところは色々これから考えて行く。今後このようなことを具体的に示していけるようにしていく。

## 赤字化で打ち出す施策であるからこそ収益性が重要ではないのか？